

「楽しい&エコ」な暮らし、いっしょにはじめましょ♪



季刊

エコびと

第6号 2011冬

特集： 藤村靖之さん講演会
(非電化工房代表 発明家)

定番コーナーも、ぜひご覧あれ

会員突撃インタビュー(法島準子さん)
とよたのまちネタ紹介(“おいしい話”です)
エコメン、み〜つけたっ(女性初登場♪)

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会(エコライフとよた)の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトびとが発行しています

特集：藤村靖之さん講演会

毎年12月に開催している、エコットフォーラム。今年は、非電化工房代表の藤村靖之さんの講演会で、タイトルは「非電化 ローカル化分かち合いで愉しく稼ぐ方法」です。グラウンドオープンしたばかりの豊田市福祉センターを会場に、約200人の参加者を迎えました。



藤村靖之さん

講演内容は、福島原発事故による放射能の問題、エネルギー利用と電気、藤村さんが取り組んでいるテーマパーク「非電化工房」と多岐にわたりました。

では、心に深くしみた言葉を私のメモから・・・（坂本竜児）

- ▼アドバイスは、人格があり勉強している人から受けるもの。アドバイスをくれた友人はどう？あなたは、どうして私に相談に来たの？
- ▼ベラルーシと日本の子どもがだぶってしまう。小さく見れば電力会社が引き起こした事故、でも大きく見れば、大人が引き起こした事故。止めることができなかった。そんな社会を容認してきた結果だ。
- ▼もうだめだとか大丈夫だとか揺れ動くのは、もうやめよう。測定結果、事実を受け止めよう。対策をすれば、子どもの将来を守れる。
- ▼那須から25組の家族が引っ越した。私は尊敬する。仕事や住む町を変えてでも、家族を守りたいという思いを。子どもたちを幸せにして欲しい。もし那須に帰ってくることがあれば、大歓迎するよ。
- ▼いつも同じことの繰り返しだ。エコロジーがエコノミーにすり替えられる。エコポイントでテレビや冷蔵庫が買い換えられた。でも、より大型の製品を買ってしまい、結果、消費電力は増えている。
- ▼幸せの中身が「快適、便利、スピード」だとしたら、電力消費が増える。でも、幸せの中身が別のものであれば幸せを2倍にして、電力消費を半分にすることができる。穏やかで喜びに満ちた心が幸せの中身であっては困る？

- ▼私たちは生産と安全を奪われてしまった。その結果、やさしさも失われた。力を合わせて共に作ることで、やさしさは培われていく。
- ▼「何かを得ると何かを失う」ことを年配の人は、日本人の哲学として今も持っているのではないか。でも、現代は違う。この50年間、得るものばかりを見て、失うものを考えてこなかった。
- ▼大人は子どものことを何も分かっていない。子どもたちに「君にとって不便なものは何？」と聞いてみた。答えを想像できる？ 答えは「何もない」、と。そして「便利なものは？」、これもほとんどの子どもが同じ答え。「ない」って。
- ▼現代は、モノに囲まれている。自分の人生が始まるよりも先に、商品がある。商品を買うことが幸せだと思込んでいる。
- ▼節電しようというのは、無理なダイエットと一緒に、リバウンドがある。そうじゃなくて、幸せになろうよ。幸せの結果、電気の消費量が減ればいい。幸せはいろいろ。一律ではない。
- ▼オール電化住宅が普及する前の家庭のエネルギーの使われ方を調べた。電気が56GP。都市ガス・石油・LPGが68GPで、これは熱として使われていた。熱も電気でまかなおうというのが、オール電化の考え方。その電気をどのようにつくるかは議論されない。快適よりも健康が大切。 *1GP=原発1基分のエネルギー
- ▼お金がないと豊かになれない、幸せになれないと思込んでいる人があまりにも多すぎる。そんな理由で幸せをあきらめるなんて、本当にもったいない。お金とエネルギーがなくても「幸せが得られる、豊かさを感じるテーマパーク」を作りたくなった。
- ▼選択肢が一つに絞られているときは、罠にはまっているとき。「原発がダメなら自然エネルギー」ではなく、みんなが幸せになるビジョンを描こう。

▼マインドセット

講演の記録をバンビさんがブログにアップしてくれました。

<http://blog.goo.ne.jp/banbiblog>
(2011年12月19日の記事)



会場の様子

豊田市の農山村視察バスツアー

エコットフォーラムの翌日は、バス研修。豊田市の農山村における「持続可能な社会に向けた取組み」を、講師の藤村さんと、いつもeco-Tでお世話になっている高野さんの案内で視察しました。

1. 里山くらし体験館「すげの里」(新盛町中洞67) 「新盛里山耕流塾」



のみなさんの案内でさまざまな自然エネルギーを使った施設の紹介、家畜の糞尿からメタンガスを生成するバイオガスプラント、市民農園を見学しました。

2. 福蔵寺(太田町蟹田6)



昼食に、「若者よ、田舎を目指そうプロジェクト」のメンバーが育てたお米と大根葉を混ぜたおにぎりとみそ汁、大根おろしときな粉とあんこがトッピングできるお餅をいただきました。



心温まるおにぎり

3. 板取の家(太田町板取34)



宿泊 & 田舎暮らしが体験できる「お試し住宅」と、現代の結や講を使って住宅をつくる「千年持続学校」の取組みを見学。藤村さんから「無計画さが素晴らしい！」というコメントをいただき一同大爆笑。

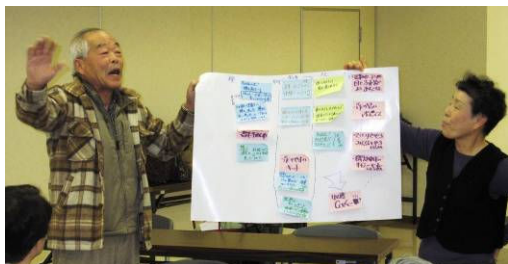
貴重な2日間となりました。

成功談・失敗談を共有した「緑のカーテン報告会」

12月4日（日）、今年取り組んだ「緑のカーテン事業」の報告会を、とよた市民活動センターで開催しました。

思えば、1年前の理事会で、「エコで楽しそうな緑のカーテンを広めよう！」「eco-T に緑の服を着せよう！（植物で包もう）」と、企画チームが発足。ほぼ未経験の私たちの勉強と、みんなに広めたいという思いを込めて、西山公園を会場に「育て方講習会」を開くことから始めたのです。

この日の報告会では、はじめに「写真でふりかえる緑のカーテン日記」と称して、約140枚のスライドで、育て方講習会からeco-Tでの設置、苗の成長、台風対策の作業の様子などをふりかえった後、参加者どうして成功談・失敗談などを語り合いました。



ゴージャカリんとう&ゴージャ茶のブレイクタイムを挟んで、後半はグループワーク。話し合いのテーマは、『緑のカーテンを広げるにはどうしたらいいか』。どのテーブルでも、わいわいがやがや、さまざまな意見が飛び交います。各グループの発表では、楽しくユニークなアイデアが数多く飛び出して、来年に向けての意気込みを感じました。

1月末には、来年度の実行委員会を立ち上げる予定です。関心のある方は、ぜひご連絡ください♪
（緑のカーテン企画チーム）

平成24年度「緑のカーテン」第1回話し合い

日時：平成24年1月30日（月）10:00~12:00（eco-T）
問合せ&参加連絡先 TEL：090-2408-2221（担当：小泉達也）

何かを始めるなら、まずは人集めから♪

会員突撃インタビュー（第5回）



のりしまじゅんこ

今回のゲストは、法島準子さん。eco-T オープン当初はインタープリターとして活躍され、現在は藤岡の石畳足湯の管理人さんです。

Q. はじめに、法島さんの趣味はなんですか？

A. 3B（ボール、ベル、ベルター：ビニールの紐）を使ってする体操を13年間続けています。若い頃にはインディアカを15～16年間やっていました。地域で「母の会」の役員をしていた時に、人を巻き込んでインディアカのグループを作りました（巻き込み上手♪）。地元のコミュニティに相談して広げていき、豊信杯という大会にも参加しました。何かを始めるとき、人が集まらないと何もできないから、まず人集めをします。人と人との、横のつながりをつくるコミュニケーションが好きですね。

Q. 最近、心に響いたことや感動したことを教えてください。

A. 地元の藤岡中学校の生徒4人が震災後、東北へボランティア活動に行きました。藤岡中学校では毎年、「ペンギン村」というボランティアグループと一緒に、瀬戸設楽線（県道33号）で不法投棄されたごみなどの清掃ボランティア（今年は70人が参加）をしたり、福祉健康フェスティバルに参加したり、いろいろ活動しています。その精神が素晴らしいし、生徒たちが輝いていると思います。

それから、感動したことはありませんが、もう一つ。私は民生委員として活動しています。この地域には昔ながらの考え方を持っている人も多く、「行政のお世話になりたくない」と、がんばる人もいます。昨今、制度を悪用する人がいるせいで、本当に困ってい



『石畳の足湯』（石畳ふれあい広場）

豊田市藤岡町石畳池ノ平 318-1 TEL0565-76-6577

足湯は和風の屋内施設で、利用無料。駐車場完備。営業時間は 10～17 時、月曜休館（祝日の場合は営業し、翌日の火曜日休館）です。

る人たちを助けられない状況が悲しいです。

Q. 法島さんが、ほっと一息つける場所は？

A. お休みの日に、気心の知れた友達とランチしたり、旅行やお寺周りをしているとき、ほっとします。ちゃんと話を聞いてくれる友達がいて、またがんばろう！と思えます。悩んでも長引かせない。（ポジティブですね♪）

Q. eco-T やエコ人に、ひとことお願いします。

A. eco-T のボランティア活動を離れてからも、『気づきから行動へ』を良いと感じて、この活動が藤岡の北部から少しでも広がるように、発信しています。今年、地域の民生委員のみなんで eco-T と渡刈クリーンセンターに見学に行きました。みなさん、「豊田にこんな素晴らしい施設があるんだ！」と感動されていましたよ。

そうそう、足湯にも気軽に遊びに来てくださいね♪

（会員突撃チーム：野武審・岩月桂子）

「昔、父から聞いた言葉。『人がこの世に生を受け、地域の人々の愛情を受けて育ち、勉強し、知識を得て成人し、年を経て地域に恩返しする』。若いころは分からなかったけれど、今は、人生とはそういうものだと感じています」と、お話ししてくれた法島さんは、今、地域に恩返しをなさっているのだと感じました。いつも明るく迎えてくださり、元気を頂ける、魅力いっぱいの方。これからもたくさんの人を繋げていってくださいね。

体にやさしいお米のケーキ、できました♪

とよたのまちネタ紹介 第5回

豊田市上原町にある Café Musu.B (カフェ・ムスビー) をご存知ですか? 平成 22 年 4 月にオープンした、豊田市下山産のお米をふっくら握ったおにぎりや新鮮な野菜を使ったランチなどを提供するお店です。ランチは女性、とくに子育て中のママたちに人気です。

この店の特徴の一つは、障がい者がメインで働いているということ。NPO 法人まほうのらんぷ (障がい者支援団体) が運営しています。オープン当初は 5 名の障がい者が働いていました。現在 8 名、来春には新メンバーが 2 名加わる予定です。働く大変さや楽しさを感じながら、誇りを持って働いているからこそ『笑顔』が素敵です。



Café Musu.B では、12 月に新商品が出来上がりました。その名も「こだわりの米粉ケーキ」。お米は農業法人みどりの里が無農薬・自然栽培で作ったもので、障がい者が米粉にひき、その後 Café Musu.B でケーキに加工しています。その他の材料も、地元養鶏場の有精卵や NPO 法人豊田・加茂菜の花プロジェクトの菜の花油など、安心な食材ばかりを選んでいきます。

だんだんと増えている障がい者のメンバーに仕事を提供するために、私たちがカフェ以外の仕事づくりを模索していた頃、夢農人とよた (えこびと第 5 号で紹介) を通じて、みどりの里と出会いました。「障がい者の仕事として、農業とタイアップできないか」「障がい者はゆっくりだけど、丁寧に仕事をするのは得意」「時間がかかるが大

切にしたい仕事”を手伝うことはできないか」など、福祉と農業で分野が違うからこそじっくり丁寧に話し合った結果、みどりの里が「時間（人手）がかかる」という理由で断念していた米粉作りとケーキの加工に挑戦することになりました。ノウハウは全面的にアドバイスしていただき、それを障がい者向けの仕事に転換して、試行錯誤の上、遂に完成！



この米粉ケーキは Café Musu.B の定番メニュー入りし、今後イベントなどでも販売していく予定です。甘さ控えめ、しっとりモチモチ、しかも身体に優しい安心なスイーツです。小麦粉と牛乳を使っていないので、アレルギー体質の方にもオススメ！（卵は使っています）ぜひご賞味ください。

（谷澤雄樹：NPO 法人まほうのらんぷ理事長）

Café Musu.B (カフェ・ムスピィ)
豊田市上原町上原 6-7 TEL0565-42-2221
営業時間 11:30~18:00 (日曜定休)

コーナー初！ エコでステキな女性登場

エコメン（エコなイケメン）、み〜つけたっ（第5回）



今回のエコメン（エコウイメン？）

稲熊 真佐子さん

豊田プレステージホテル
代表取締役社長
とよた下町おかみさん会
平成 23 年度会長

情緒漂う…

平成3年にホテルが建つ前は、祖父母の代から旅館を運営していました。自分たちの衣食住がお客様の目にふれたり、長期下宿しているお客様と私の家族で行楽に行くこともありました。お客様との距離がすごく近い…そのようなことが自然な時代だったのです。小さいころから豊田市駅前のまちの移り変わりを見てきましたが、昔は立派な旅館や料亭が並ぶ“情緒ある下町”で、現在とは全く違う風景が広がっていました♪

“かばん持ち”で培った学び

ホテル経営に携わる前、就職した先の事業部で、接客講師のかばん持ちを一年半担当しました。そのお陰で自然とおもてなしの心や接客技術が身につきました（笑）。そこで得た学びが偶然にも、後のホテル経営につながりました。自分なりに接客マニュアルをつくり、スタッフの育成もしました。特に“言葉”がお客様に与える印象はとても大きいので、使い方に気を配っています。

傘でできたエコバッグ♪

今夏は、お客様が不在の時間に照明を消すなどの節電に取り組みま

した。他には、商店街の打ち水イベントに関わりましたが、親子の参加者も多くにぎやかでしたよ♪ 個人的には、緑のカーテンにチャレンジしたり、知人からいただいて感動した「使わなくなった傘からできたエコバッグ」やマイ水筒を常備しました。このバッグは、軽くて強くて、雨にぬれても大丈夫なので愛用しています！

待ってくれないエレベーター！？

十数年前に商業振興調査海外派遣団でスイスとドイツへ視察に行きました。中心市街地に車を入れないパーク＆ライドや廃車バスを利用した荷物預かり所が印象的でした。また、スイスの役所の中には、ドアがなく、止まらずに昇降するエレベーターも見かけました。発着時の電力消費が高いからという理由だそうですが、この斬新さには驚きました！ 買い物かごを持っている人や、ものは出来るだけ直して使う、という日本に根付いていた精神で暮らしていました。

新しく生み出す！

ずっと豊田市で暮らしてきたからこそ思うのですが、狭い地域や地元の人たちだけではどうしても陳腐化してしまうところがあるのですね。「よそ者、若者、ばか者」という言葉がありますが、外から来た人たちの意見にも耳を傾けることはとても重要なことだと思っています。守り続けていくこともあるかもしれませんが“新しいものを生み出すこと”も大切にしていきたいです！

(エコメンチーム：栗野理絵、長嶋一枝)

取材を終えて・・・

「“断捨離”に関心があるのですが、もの持ちの良さと、買い物好きでなかなか…(笑)ヨーロッパ訪問紀行を書いた際、祖父母から言われていた『もったいない』の言葉を使いました。マータイさんよりも早く使っていたかも～」と、ものへの愛着心ともったいない精神を強く持つ、ステキな稲熊さんでした♪

職場研修生による活動レポート♪

就業経験のない若者が、7~12月にeco-Tで様々な仕事を体験しました。「職場研修で感じたこと」というテーマでレポートを寄せてもらいました。

7月末からeco-Tに職場研修に来て、これまでにない貴重な体験をすることができました。

エコットキッズタウンでは、写真撮影と人手の少ない所のお手伝いをしました。最初は何をやるのかも、どんな雰囲気なのかも分からず、とても戸惑いました。それでも日を迫うにつれて内容や雰囲気にも慣れ、子どもたちの表情を見る余裕も出てきました。

また、ごみの埋立処理場など、普段見ることのできない施設を見学でき、とてもよかったです。

それから、eco-Tに来たことで東日本大震災被災地のボランティアの募集を知り、宮城県七ヶ浜に行って来ました。ボランティアの内容は、足湯の活動でした。簡易フットバスに浸かる地域の方と対面し、手をさすってあげながら、お話を聞きました。直接触れ合うことで、ふだんは話しにくいことでも私たちには話してくれたりして、終わった後はほとんどの方の表情が柔らかくなっていました。

今後も時間とお金、機会があれば足湯に限らず、ボランティアに参加していきたいです。

研修全体をふりかえって、自分に足りない、出来ていないと思ったことは、コミュニケーションと時間の管理です。被災地のボランティアに行ったことで、コミュニケーションや時間の管理の大切さを、よりいっそう強く感じることができました。

(職場研修生：今原祐樹)



キッズタウンでの
入口の飾り付け



足湯のボランティアの活動
(仮設住宅の集会所にて)

●主な活動記録一覧（10/1～12/31）

10月

- 6日 eco-T 運営会議
- 8日 eco-T「緑のカーテン」1階分片付け
- 17日 平成23年度展示製作ワークショップ第1回
- 22日 「LOVE RAPPORT TOYOTA オータムフェスタ」出展
- 23日 社会人講師研修「地域の魅力を再発見させる社会人講師とは」参加
- 27日 第29回（2011年度5回）理事会
- 29日 eco-T「緑のカーテン」3階分片付け&種子採り&ふりかえり

11月

- 3日 市民による『再生可能エネルギー利活用事業』のあり方検討会第1回
- 8日 豊田市「新環境技術 PR パビリオン」展示製作者審査会
- 9日 インタープリターおもてなし研修
- 11日 eco-T 運営会議
- 22日 インタープリター&スタッフ研修
（豊田市「緑のリサイクルセンター」等視察）
- 30日 ひまわり TV「とよた NOW：市民活動コーナー」エコ人紹介

12月

- 3日 活動を元気にするチャリティコンサート（実行委員として参加）
- 4日 平成23年度エコ人「緑のカーテン事業」報告会 → P.5 参照
- 8日 展示解説ボランティア育成講座開講（～2月9日）
- 9日 eco-T 運営会議
- 17日 エコットフォーラム2011 藤村靖之さん講演会
非電化 ローカル化 分かち合いで愉しく稼ぐ方法 → P.2 参照
- 18日 藤村靖之さんと巡る「豊田の農山村の取組み」視察ツアー → P.4 参照
- 20日 第30回、第31回（2011年度6回、7回）理事会
- 26日 eco-T 大掃除
- 27日 eco-T 仕事納め

平成 24 年 2 月の「豊田市長選挙(予定)」にちなんで…

みなさんの、「こんな市長を望む！」を、募集します♪

市長選挙は、4年に一度、私たちの身近な(?)リーダーを選ぶ日ですね。「誰に投票するか？」の前に、「どんな人に市長を担って欲しいか?」、改めて考えてみませんか。

ちなみに、12/20の理事会後の雑談では、こんな声がありました

- 豊田市の未来を考えて、動いてくれる市長
- “地域愛”のある市長
- 徳のある政治家(本当に市民のことを思う市長)
- 耳を傾ける市長
- 市税を無駄なく使ってくれる市長

あなたの『こんな市長がいいな♪』を、ぜひエコ人まで送ってください。いただいたご意見は、次号で紹介する予定です。

(今回の市長選挙には間に合いませんが、“考えて伝え合うこと”が目的です)

Eメール info@t-ecobito.jp、FAX 0565-42-2805

*** *** *** *** *** ***

オススメ書籍のご紹介

今号の特集に通じる書籍をご紹介します♪ この本の印税は全額「うつくしま福島復興プロジェクト」に寄付されるそうですよ。



「人は100Wで生きられる～だいち先生の自家発電「30W生活」～」

高野雅夫著 大和書房

この本は、発電や電力利用の「ノウハウ本」ではありません。「エネルギー問題は生き方の問題」ととらえ、3.11以降の社会のあり方、私たちの暮らし方を私なりに考察・提案したものです。(著者ブログより抜粋)

●おすすめイベントの紹介&参加者募集（1～3月）

日時	内容など
1月7日（土） 13:00～17:30	<p>「農山村へのシフト」連続講座 映画上映会&トークセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：とよた市民活動センター ●プログラム 第1部 13：00～「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会（鎌仲ひとみ監督） 第2部 15：30～17：30「農山村へのシフト」トークセッション（出演者：鎌仲ひとみ、田中優、高野雅夫、渋澤寿一、丹羽健司） ●参加費：第1部 第2部 各 1,000円 ●定員：100名 ●申込み：ke-tin@banbino.jp（中根） sigekayo@juno.ocn.ne.jp（山本） FAX：0565-62-4011 TEL：090-5453-6411（山本） ●主催：とよた都市農山村交流ネットワーク・農山村へのシフト千年委員会
1月13日（木） 13:30～16:00	<p>環境モデル都市シンポジウム「スマートシティで暮らそう」 ～ハイブリッド・シティとよたの実現に向けて～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：名鉄トヨタホテル7階 金扇の間（名鉄豊田市駅東口） ●プログラム 取組紹介「環境モデル都市とよたの紹介」「自動車の未来とスマートシティ」 基調講演「子どもたちの未来のために考えたいエネルギーや環境のこと」 講師：木場弘子氏（キャスター・千葉大学教育学部特命講師） パネルディスカッション「スマートシティでの暮らし」 （登壇者：木場弘子、小平信因、鈴木公平豊田市長） ●定員：先着 400名 ●問合せ：豊田市環境モデル都市推進課（TEL：0565-34-6982）
1月25日（水） 10:00～11:30	<p>平成23年度 消費生活講座（豊田市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定員：先着 50名（受講料無料、託児有り） ●主催：豊田市消費者グループ連絡会 ●申込み・問合せ：豊田消費生活センター（TEL：0565-33-2447） <p>第1回「原発事故と放射能汚染の実態」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：豊田産業文化センター4階 視聴覚室 ●講師：河田昌東氏 チェルノブイリ救援・中部 理事
2月2日（木） 10:00～11:30	<p>第2回「次世代エネルギーと私たちの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：とよた男女共同参画センター（豊田産業文化センター2階） 情報交換室 ●講師：吉見匡保氏 豊田市総合企画部 調整監（兼）経営政策本部長
2月1日（水）～ 2月12日（日） 10:00～16:00 ※但し2/6は休館	<p>eco-T 期間展示「省エナライブ大作戦！」</p> <p>省エネに取り組みたい山田さん。でも、何をしたらいいかわからず困っています。あなたのアイデアで山田さんの暮らしを変えてみませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：豊田市自然観察の森ネイチャーセンター
2月25日（土） 10:00～12:00	<p>とよた子どもエコクラブ交流発表会</p> <p>学校や地域で活動している子どもエコクラブが一年間の活動の成果を発表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：豊田市環境学習施設 eco-T
3月17日（土） 14:00～16:00	<p>太陽光発電は本当にお得！？</p> <p>太陽光発電のしくみを知り、エネルギーの選択肢を増やし、消費量を見直します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：益富交流館 会議室 ●対象：中学生以上 ●講師：影浦健一氏 ●定員：30名



←二重枠内に記載分のお問合せは「eco-T事務局」まで

TEL：0565-26-8058

会員のみなさま(2011年12月25日現在) 囲みは新規会員

●正会員 石村正行さん、伊吹あゆみさん、岩月桂子さん、河合志郎さん、栗野理絵さん、小泉達也さん、小泉由美さん、小泉洋子さん、後藤康江さん、坂本竜児さん、杉浦清美さん、田上治さん、谷口功さん、谷口陽子さん、種子田寛郎さん、中川恵子さん、長嶋一枝さん、野武審さん、萩原喜之さん、福岡陽子さん、松浦貴子さん、南谷五郎さん、山口重春さん

●賛助会員 青山克巳さん、赤坂洋子さん、芦辺由岐子さん、栗津銀治さん、板倉三枝子さん、井藤伸比古さん、奥村紀美さん、落合ひろ恵さん、加藤由見江さん、神谷ゆう子さん、後藤美代子さん、坂口明子さん、澤田高和さん、山東光子さん、種子田雅子さん、法島準子さん、長谷川広一さん、伴在慶一郎さん、本多慶子さん、本田昭二さん、宮島芳枝さん、村井孝一さん、村松里子さん、安宮勝之さん、山中由紀さん、吉田香さん、特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会



**入会&継続
ありがとう
ございました!**

**現在の会員数は
49名、1団体です**

会員募集中(随時受付)

あなたもエコ人メンバーになりませんか?

正会員 10,000円(議決権あり)

賛助会員 一般 1,000円/口

学生 500円/口

営利団体 10,000円/口

非営利団体 3,000円/口

編集後記

今号では偶然、「足湯」の話題が2度、出てきました。それでふと思ったのは、「日常のささやかな楽しみや喜びの積み重ねこそ、本当の幸せなのかも」ということ。気持ちを整理しきれないような社会的な出来事が起きた一年間だったので、そんな風にしたのかも。みなさん、良いお年を。(小泉た)

発行・編集 ^{ひと}NPO法人 とよたエコ人プロジェクト

FAX 0565-42-2805

メール info@t-ecobito.jp

ブログ <http://blog.canpan.info/eco-bito/>

2011年12月発行

←理事のつぶやきなど

連絡先 TEL(スタッフ勤務先) 0565-26-8058

【豊田市環境学習施設 eco-T(エコット)】

エコットのホームページ <http://www.eco-toyota.com/>

私たちは豊田市から委託を受けて、環境学習施設eco-T(エコット)を運営しています